

教育ビジョン研究センター定例オンラインセミナー講演会 No.155



SIP

戦略的イノベーション創造プログラム

Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program 第3期課題

ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築

「デジタル・シティズンシップ・シティ： 公共的対話のための学校」キックオフシンポジウム

2024 **2.23** (祝・金) 14:00-17:00

広島大学教育学部第三・四会議室とオンラインのハイフレックス開催
申し込み時に、対面参加かオンライン参加のいずれかを選択してください

14:10-14:10 趣旨説明

14:10-14:40 基調講演「人文社会科学分野のSIPの可能性」

小林 信一（広島大学副学長, 人間社会科学研究科長）

14:40-15:45 概要説明および成果報告

15:55-16:50 関係者・有識者のコメントと意見交換

16:50-17:00 まとめ「NICEに期待すること」

西岡加名恵（京都大学教授・本課題サブプロジェクトディレクター:SPD）

終了後、1時間程度の意見交換会・懇親会を開催します。ご自由に参加いただけます。

本シンポジウムでは、**NICE**のビジョンおよび初年次の成果報告を行うとともに、今後の計画を提案します。本報告と提案に対して**NICE**に関心を持つ参加者の皆様からご意見ご助言をいただくことで、**NICE**の展望と社会実装の可能性を議論いたします。

NICEの意味

- N**etworking between schools (学校を結びつける)
- I**nitiating dialogue among schools (学校間の対話を促進する)
- C**reating digital public spheres (デジタル公共圏を構築する)
- E**ducating democratic citizens (民主的市民を育成する)

【主催】

教育ビジョン研究センター (EVRI)

右のQRコード等からお申し込みいただけます

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします



概要説明及び成果報告

- (1) NICEは何をしてきたか、何をを目指すのか
ー越境する教室・デジタル公共圏ー (草原 和博)
- (2) 子どもは NICE授業から何を学んだか
ー異質な他者の認知と自己省察の深化ー (川本 吉太郎ほか)
- (3) 公教育制度から見たNICEの可能性
ー教育長等への聞き取り調査の結果からー (滝沢 潤)
- (4) AI技術から見たNICEの可能性
ー音声認識技術の遠隔教育への活用課題ー (渡辺 健次, 隅谷 孝洋)
- (5) 海外先進例から見たNICEの課題
ー学校を中心とする市民生態系の観点からー (金 鍾成)
- (6) プリミティブなNICEの取組から見えてくるドラスティックな教育改革の戦略
(川口 広美)

コメントをいただくご来賓の方々 (一部調整中のため変更の可能性もございます)

<行政関係者>

高垣 廣徳 様 東広島市長

<教育関係者>

阿部 由貴子 様 広島県教育委員会学びの変革推進部長, (兼)教育センター所長

向井 秀則 様 東広島市立三ツ城小学校長

小迫 賢志 様 東広島市立高美が丘小学校長

沖 秀治 様 東広島市教育委員会学校教育部指導課情報教育推進室長

福 宏人 様 鹿児島県徳之島町教育委員会教育長

佐々木 恵美 様 鹿児島県徳之島町立花徳小学校長

<有識者>

緒方 広明 先生 京都大学教授(ご専門は, 教育データサイエンス, 学習支援システム)

篠原 岳司 先生 北海道大学准教授(ご専門は, 公教育制度, 教育行政学)

豊田 光世 先生 新潟大学准教授(ご専門は, 環境哲学, 合意形成, 対話教育)

星 瑞希 先生 北海道教育大学札幌校講師(ご専門は, 歴史教育, 社会科教育学)

玉井 慎也 先生 北海道教育大学釧路校講師(ご専門は, 歴史教育, 社会科教育学)

【主催】

教育ビジョン研究センター (EVRI)

右のQRコード等からお申し込みいただけます

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします

